

2025年度

ニチキッズふじみ野保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（月）～2月16日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、子どもの思いに寄り添いくみ取りながら、園児が毎日居心地よく保育園で過ごせるように取り組んできた。
子どもの発達援助	職員全員で昼礼を行い、園児の日々の様子を共有してきた。その中で個々の発達に合わせ、一人一人の配慮事項を確認し合い、その時々の子どもの思いを大切にしながら柔軟に対応してきた。
保護者に対する支援	日々の送迎時に子どもの様子や成長の姿を伝えることを大切にしてきた。また保護者との信頼が築くために、春に個別面談を実施。その後も必要な際は随時面談を行った。保育参加週を年2回設け、園を知ってもらい、園での関わりを見てもらった。子どもの成長発達を喜び合えたと感じる。
保育を支える組織的基盤	職員の入れ替わりがあったが、マニュアルの研鑽や各種研修を受講、それを会議にて共有し、コミュニケーションを取りながら共通認識した。会社からの事故等への注意喚起も学び、自園での対応を進めることができた。

総評
職員の入れ替わりによる不安なスタートとなったものの、各々が良い保育園でありたいと考え行動したことで、理念に則った保育を勤めることができた。チーム保育として全ての保育士が園児一人一人を理解し関わることができ、一人遊びを満喫できるよう配置を都度変更したり、異年齢遊びができるように工夫したりと、子どもの「やりたい」を大事にしてきた。保育士自らの提案が園内研修へと発展することもあった。今後も子どもの主体性が発揮できる保育園でありたい。そして保護者との信頼関係をしっかりと築いていきたい。地域へとしてはトナリエ内でのみの交流に留まっているため、さらに広げられるように努めていくことが課題となる。